

一般社団法人朝霞地区薬剤師会

あさやくだより

第23号

(一社)朝霞地区薬剤師会

発行人: 広報委員長 清水 勝子

〒351-0021朝霞市西弁財1-10-21-312号

TEL: 048-483-4125 FAX: 048-483-4126

asaka-ph@asakaph.or.jp

朝霞地区薬剤師会 創立30周年記念祝賀会



6月29日、ベルセゾンにて朝霞地区薬剤師会創立30周年記念祝賀会を開催しました。

穂坂泰衆議院議員を始め4市市長、市議会議長ら30名のご来賓、会員を含めて60名を超える方々にお集まりいただき、この日を迎えられたことは、ひとえに皆様方の多大なるご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

住みよいまちづくりに薬剤師が協力できるよう、薬事衛生の向上に向けてもしっかり貢献できるよう医師会・歯科医師会・行政の方々のお力もお借りしながら引き続き事業を推進してまいります。

今後ともより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

会長 大八木 実・あおぞら薬局



朝霞地区はおくすり手帳発祥の地です

1995～1996年度、朝霞地区薬剤師会は厚労省の「医薬分業モデル地区」に指定され、分業推進のための意義ある事業を検討する中で「おくすり手帳」の作成を決めました。その背景にあったのは、1995年に発災した阪神淡路大震災。救護所にくる多くの慢性疾患を持つ方々が、継続的に使用している薬の名称を知らなかったために、治療に大きな困難を生じたことがあり、「患者自身が自分に処方されている薬を知ることはとても重要であり、医薬分業はその原点である」という思いがあったのです。当時の会長小田美良氏らを中心に、朝霞保健所や病院薬剤師など多くの方々の力をお借りして事業を進め、記念すべき「おくすり手帳」第1号が完成しました。



第57回 日本薬剤師会学術大会埼玉大会にぜひご参加ください



第57回日本薬剤師会学術大会が、大宮ソニックシティ、パレスホテル大宮、さいたまスーパーアリーナを会場に、9月22日23日の2日間、埼玉県で開催されます。

メインテーマは「彩(さい)」。広さ7500㎡の中に展示会場、ポスター発表、OA機器展示、機器・薬品他展示、書籍展示、埼玉県物産展示販売などを予定しています。一部セッションのライブ配信も予定されています。助成金登録は終了しましたが、皆様、ぜひご参加ください。

通常・当日参加登録期間：

2024年8月7日(水)～9月23日(月・祝) 12:00まで



令和6年度 定時社員総会報告

令和5年6月8日、志木市市民会館臨時会議室において、第10回一般社団法人朝霞地区薬剤師会定時社員総会を開催しました。

有効委任状・議決権行使書127名、当日出席者数18名、合計議決権145名で、司会の細川理事から総会成立が報告され、内野理事を議長として議事が進められました。

第1号から第5号まですべての議案が全会一致で承認されたこと、会員の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

昨年度に引き続き、代表理事・会長大八木実、副会長細川玄機、須田友子、斎藤武志、内野裕嗣の4人の支部長を中心として、理事13名、監事2名の体制で事業を進めて参ります。今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。



令和6年度第2回研修会報告

7月24日朝霞市産業文化センターで、学校薬剤師委員会主催の第2回朝霞地区薬剤師会研修会を開催しました。

今回のテーマは「薬剤師が子どもたちに伝えたい薬の作用と薬物乱用防止について（オーバードーズを含む）」です。

私たち薬剤師が地域や学校で講演依頼を受けることを想定し、昨年度まで学校薬剤師として活躍された、朝霞地区薬剤師会前会長畑中典子先生に講演を依頼、参加者は実務実習の学生9名を含み、44名でした。

畑中先生は担当していた小学校高学年に向けたスライドに基づき、これから学校薬剤師として講演をする場合のポイントを伝えてくださいました。学生からの質問、学校薬剤師以外の方からの質問もありとても良い研修会でした。

学校薬剤師委員長 渡邊 美知子・あさか台わたなべ薬局



災害対策委員会より



災害対策委員会では、朝霞地区薬剤師会の災害におけるBCP（事業継続計画）の作成を昨年開始し、地震編の草案が今年6月に完成しました。近日中に会員の皆様への公開を予定していますが、このBCPに基づき、災害時の連絡訓練を行うためのツールをどのように構築するべきか、現在検討を進めているところです。

速やかな復旧と事業存続ができる体制を整えることは非常に重要なことであり、中でも緊急連絡網は、災害やトラブルなどが発生した際の連絡方法や、誰がどの順番で連絡するかといったルールをあらかじめ定めたもので、危機管理マニュアルに必須の項目でもあります。いつ起こるかわからない災害への体制を整える活動にご協力をお願いいたします。

朝霞支部長 災害対策委員長・細川 玄機・三原薬局

学校薬剤師委員会より

朝霞地区薬剤師会は、朝霞市・新座市・志木市・和光市4市と契約を締結し、今年度は約40名の会員が学校薬剤師として登録、公立小・中学校で活動しています。また、厚生労働省や日本薬剤師会、埼玉県薬剤師会からの情報を速やかに伝達するとともに、各種講習会に参加するなど子供たちの環境衛生の保持、向上に尽力しています。他に、高校や幼稚園、養護学校にも学校薬剤師がいます。欠員が出た場合には、会員の皆様に通知し募集をいたしますので、その際は、皆様協力をお願いいたします。

以下の4名の先生方が2022・23年度をもって学校薬剤師を退任されましたので、研修会の中で、感謝状を贈呈いたしました。先生方には、長年にわたり学校薬剤師としてご尽力くださったことに心より感謝申し上げます。

新座市 畑中 典子先生
 新座市 濱中 裕先生
 新座市 須藤 清子先生
 和光市 小田 英之先生



学校薬剤師委員長 渡邊 美知子・あさか台わたなべ薬局

地域フォーミュラの導入に向けて

朝霞地区薬剤師会では、令和4年度より地域連携委員会の中にフォーミュラ部会を立ち上げ、地域フォーミュラの導入に向けて活動を開始しました。当部会では、薬局と病院の薬剤師が共に活動しています。勉強会の開催、医師会・歯科医師会へのアンケートの実施、朝霞地区での医薬品の使用量調査、フォーミュラのひな形の作成など少しずつ形になってきています。令和6年3月には、初めて朝霞地区三師会として部会の会議を開き、医師会、歯科医師会の先生方にもご参加いただき、地域フォーミュラを構築していくことについての懸念点、質問など色々のご意見をいただきました。医師会・歯科医師会の先生方にも興味をもっていただけたことが導入の一步に繋がると信じております。

当部会では、フォーミュラ作成に協力していただける薬剤師の方を募集しています。我々部会メンバーも手探りの状態から始めました。地域で働く薬剤師の皆さま、ぜひ一緒に朝霞地区の地域フォーミュラを作り上げませんか？ 関心のある方は、朝霞地区薬剤師会までご連絡ください。部会へのご協力をよろしくお願い致します。

地域連携委員 加藤 千夏・朝霞厚生病院薬局



実務実習委員会より

災害集合研修 印象記

研修を通し、災害の現場での薬剤師の在り方を学ぶことができました。記憶に新しい2011年の東日本大震災、2024年の能登震災では、連日ニュースで被災の状況が報道されていたものの、現地での薬剤師の活動を知ることは無かったので、今回の災害研修を通じて薬剤師の災害時の役割を知り、多くの気づき、学びを得ることができました。

今回の集合研修では、事前にハザードマップから実習薬局の災害リスクを確認し、想定されるリスクやそれに対する対策についてグループディスカッションを行いました。実習させていただいている薬局、グループディスカッションを行った方の薬局ともに水害のリスクは低かったため、地震によるリスクを話し合いましたが、自分では気付かない視点からの意見を聴くことができ、限定的ではなく広い視点で薬剤師の災害時の活動を検討することができました。さらに、ディスカッションの中で停電やゆれに対する薬局各々の対策に限らず、周りのテナントや門前などの医療機関と災害時の動き・情報共有といった連携がより重要であることを再確認することができました。

また、薬事トリアージの体験では、限られた時間で患者さんからの的確に情報を聴きとる必要があり、焦りが出てしまい難しく感じましたが、必要な情報を聴きとる能力を身につける貴重な機会となりました。似た症状であっても既往歴、バイタルなどといった背景が患者さんひとりひとりで異なるため、普段の投薬をはじめとした対人業務で災害に対応できる能力を培っていきたいと感じました。

今回の災害研修より、災害時の対策に限らず薬剤師が現場でどう活躍しているのかを知ることが出来ました。実際に災害時現場に出た時に冷静に対応できるように日常の業務と今回学ばせていただいたことを生かせるような薬剤師になれるよう生涯学習と自己研鑽に励みたいと思います。

この度はお忙しい中トリアージにおける複数症例のご用意や貴重なご講演ありがとうございました。

城西大学・樋渡 彩香



ワールドカフェ 印象記

ワールドカフェに参加させていただき、地域の実習生とともに、地域包括ケアや地域資源について学ぶことができました。人数が少なかつたため、1グループでの話し合いとなりましたが、活発に意見を出し合い、とても有意義な時間となりました。

ディスカッションを行う前に薬剤師の先生からご講義いただき、現在のような地域包括ケアが求められるようになった背景や、地域包括ケアで求められていることなどを学ばせていただきました。地域包括ケアにおいては、まずは高齢者などの問題点に「気づく」こと、そしてその問題点の解決に向けて多職種や地域資源の利用などへと「つなぐ」ことの2つの視点がキーワードになるのだと分かり、その点を意識してディスカッションを行うことができました。

ディスカッションでは提示された課題に対し、考えられる問題点を付箋に一つずつ書き出し、さらにその解決法を別の付箋に書き出して矢印でつなげるという方法を用いたため、様々な意見が可視化してとても考えやすかったです。付箋は大きく2つにグループ分けをし、患者さん個人の問題と患者さんの周りの家族の問題とで分けて考えました。それぞれの視点から様々な問題点を分類して書き出すことができたと思います。健康サポート薬局やかかりつけ薬局など、地域に根ざした薬局の存在を通してこのような問題点に「気づく」ことで、地域包括ケアの第一歩を進めることができるのだと思いました。

普段から患者さんや家族が抱えている問題点に目を向ける意識を持ちたいと思います。また、患者さんからの解決法としてつなげた職種の中には、普段の薬局業務では関わらない職種などもあり、現実的にどのような連絡手段でつなげるのかなどについてもよく考えておく必要があることが分かりました。さらに解決法として、地域資源を利用できるものも多くあり、患者さんが住み慣れた地域で安心して暮らしていくため積極的に活用したいと思いました。地域資源については事前課題として調べてきていましたが、これまで具体的に地域資源について調べたことがなかったため、様々な地域資源があることを知り、「つなぐ」役割として色々な解決方法を知っておくことは重要なことだと思いました。

また今回の議題では患者さんに認知症の疑いがあるというものであったため、どのように患者さんの意思を確認するかという点が問題になりました。できる限り患者さんの人権を尊重し、本人を置きざりにしないようなサポートを行うため、患者さんに関わっている人たちからの情報収集やご本人の様子などを考慮する必要があると考えました。地域包括ケアの中心には患者さんがいるという視点を忘れずに、これからの薬剤師業務に活かしていきたいと思います。



北里大学・吉葉 愛紗

おすすめの本

「英国の本屋さんの間取り」

清水 玲奈 著 (エクスナレッジ)



薬局と書店とは「どこで買ってもモノは同じ」「既存店舗がネット通販に駆逐されている」という類似点を持っています(個人的には「人を癒す」も共通点に数えたい)。実際に世界中で書店は減っていて、身近なところでは、僕が開業した頃には志木駅周辺

にたぶん5軒あった書店が今は1軒だけになりました。ところが、イギリスでは書店が再び増加に転じたそうです。この本は、それぞれに個性的な書店を取材していて、自分の薬局の参考にならないかと読み始めたのですが、本好きの方であれば、パラパラ眺めるだけでも十分楽しいのではないのでしょうか。

広報委員 田代 健・地球堂薬局

「13歳から鍛える具体と抽象」

細谷 功著 (東洋経済新報社)



生活の中で自然と無意識のうちに繰り返しているはずなのに、いざ言語化しようとする表現しにくい。いったい具体と抽象ってなに?人間とほかの動物ってなにが違うの?方程式や歴史のような日常生活とは関係なさそうな学校の勉強をする必要ってなに?

コミュニケーションにはどうやって活かせるの?など、ふつうに生活をしていると気づかないことを気づかせてくれる。今までと違ったものの見方や捉え方ができるようになりそうな予感を感じる一冊です。具体と抽象を知り、自分の未来の可能性を再発見してみるのも楽しいですよ。

広報委員 金子 修治・ミドリの薬局

俳句を楽しむ

星月夜見上げて訃報聴きにけり
渡邊 みち草
(理事 渡邊 美知子
あさか台わたなべ薬局)

音も無く一番星の流れ逝く

ファインダーの向かうの星の涼しさや

暑気払ひ大谷翔平ホームラン

男にも日傘の似合ふ時代の来

市民フォーラム、健康まつりのご案内

今年も市民フォーラム、4市健康まつり、防災フェアが実施されます。現在決定している日程は以下のとおりです。

- 市民フォーラム 10月6日(日)
志木市民会館仮設会議室
- BOSAIフェア2024in和光 10月14日(月)
和光市総合体育館 和光樹林公園
- 新座市健康まつり 10月20日(日)
- 朝霞市総合防災訓練・防災フェア 11月10日(日)
くみまちモールあさか
- 志木市健康まつり 11月17日(日)
健康増進センター

昨年の様子

協力薬剤師の募集は、8月末ごろご案内します。皆様のご参加お待ちしております。



研修会情報は、ホームページに掲載しています。チェックしてみてください。



編集後記

昨年より、朝霞市の小中学校の学校薬剤師を引き受け、定期的に検査に伺っています。例年7月上旬にのプールの検査行っていますが、今年は、ある期待を持ちつつ検査に向かいました。

それは「ヤツに会うこと…。」

ヤツとの出会いは、昨年の7月に遡ります。新型コロナウイルス感染症ためプールの授業が中止となり、誰もいないプールを覗き込んだ時でした。水中を動く四角いヤツ。思わず養護教諭に「何ですか、あれは?」と聞いたところ、「プールの底のゴミを掃除する自動掃除機です。」との返答が。まさにプールのロボット掃除機。誰もいないプールで音もたてずに黙々と掃除を遂行するシャイなヤツ(?)。今年も再会を期待してプールを覗き込みましたが、ヤツの姿はありませんでした。少し落ち込みながら、設備の点検をする中、ひっそりと倉庫の片隅に置かれていたヤツをついに発見しました。なんとなく寂しそうに見えました。

広報委員 細川 玄機・三原薬局

朝霞地区薬剤師会
〒351-0021
朝霞市西弁財1-10-21-312
TEL : 048-483-4125
FAX : 048-483-4126

